

秋田大学学生海外派遣支援事業 帰国報告書

記入日：2015年8月10日

氏名：佐藤 華奈

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修3年

派遣先大学名：グリフィス大学（オーストラリア）

在籍身分：交換留学生

派遣期間：12ヶ月

渡航年月日：2014年7月14日

帰国年月日：2015年7月14日

○派遣先大学における授業などの履修状況

授業名	履修期間	講義時間（週）	取得単位数
Foundation Studies	2014年7月～11月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
Information Systems for Service Industries	2014年7月～11月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
Rooms Division Management	2014年7月～11月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
Language and Communication for Business and Commerce	2014年7月～11月	講義: 2時間 チュートリアル: 2時間	10
Introduction to Research	2015年3月～6月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
Introduction to International Tourism and Hotel Management	2015年3月～6月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
Accounting for Decision Making	2015年3月～6月	講義: 2時間 チュートリアル: 1時間	10
International Food and Beverage Management	2015年3月～6月	講義: 2時間 チュートリアル: 2時間 (隔週)	10

○研究・学習概要及び今後の学習計画

グリフィス大学では基本的に一つの授業が、講義とチュートリアルという20人ほどの少人数に別れたクラスの2つで構成されています。私は今回の留学で、以前か

ら興味があった観光学・ホテル経営学を中心にビジネスのことについて学んできました。授業は1セメスターにつき最大で5つ履修することができます。交換留学生に対しての必修科目は特になく、自分の興味にあった授業を選択できます。

最初のセメスターで履修した **Language and Communication...** は英語が母語ではない学生を対象に、ビジネス用語から、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など大学生として知っておくべき基礎的な部分まで教えてくれます。レポートのテーマやプレゼンテーションのテーマなどは、全てこれから学ぶビジネスに関する題材を扱うので、これまで知識のなかった私でも基本的な知識を身につける良い機会になりました。今までこの分野を勉強したことがなかったために、履修したのは1年生に向けた入門授業が多かったのですが、**Rooms Division** と **F&B Management** は2年生向けの授業で比較的实践的で内容もそれなりに知識がないと難しいものでした。**Rooms Division** では実際にホテルで使われている宿泊管理ソフト **OPERA** の使い方を学び、仮定の予約管理やルームステータスの変更、精算の仕方などをマスターしました。**F&B** ではグループで新しいレストランの構想を練り、コンセプトの提案から具体的な内装デザイン、メニュー、運営システムなどを作り上げます。数あるワインの中から自分のレストランのメニューに合うものを理論的にマッチングさせていく作業などなかなか骨の折れる授業だったのを覚えています。

秋田大学では違った分野を専攻しておりますが、グリフィス大学で学んだことは卒業後の進路に役立てようと思っています。あちらで向上させた英語に関しては、これから履修する授業や **The ALL ROOMS** での活動を通して維持、そしてさらなる向上を目指したいと思います。

(ゴールドコーストキャンパス→)



○生活面について

留学中は自分でウェブサイトを使ってシェアハウスを探し、様々な人と共同生活を行いました。日本の様に不動産を通さず簡単に部屋を借りることができるので、初期費用も安く抑えることができます。オーストラリアの物価は日本と比べると全体的に高いのですが、スーパーなどで売っている野菜や果物は比較的安いです。物価が高い分、最低賃金も日本より高いです。夏休み中はレストランでウエイトレスとしてアルバイトをしましたが、そこで貯めたお金でケアンズやシドニーに旅行に行きました。オーストラリアには世界的に有名な観光地がたくさんあるので、学生は休暇を利用してよく旅行に行っていました。

オーストラリア人はとても親しみやすく、日本人よりも個々の距離が近いですが、それでもお互いのプライバシーを尊重する心が根付いており、私にはそれがとても丁度よく感じました。また、多民族国家のために様々な国の料理が本格的なのも魅力です。私は、秋田ではあまり馴染みのなかったタイ料理にはまって毎週のように

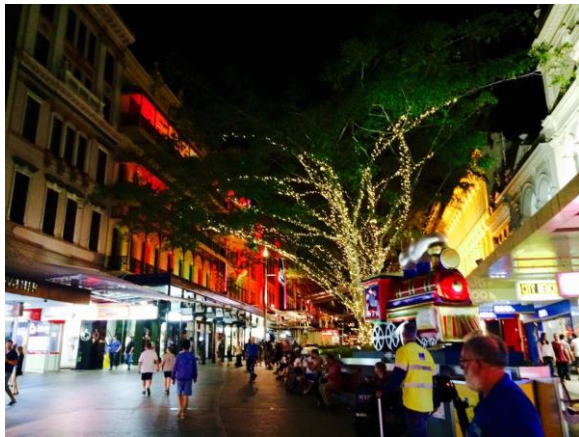


食べていました。オーストラリア人の英語のアクセントだけでなく、インド人、イギリス人、北欧系のアクセントなど世界中のそれぞれ違ったアクセントを日常的に耳にすることができるのがとても楽しかったです。

(←サーファーズパラダイスビーチ)

○その他留学全般にわたる感想

行く前は楽しみ半分、不安半分、といった気持ちでしたが行ってみると全てが真新しく、チャレンジ精神と好奇心がそそられる経験にあふれた日々を過ごすことができました。1年間の留学でしたが、本当にあっという間に終わってしまったという印象です。この1年で学んだことは、勉強面以外でも沢山あり、今後の人生に大きく関わってくることを確信しています。私一人の力では成し得なかったこの交換留学、支援してくださった秋田大学の皆さんや家族、友達には本当に感謝でいっぱいです。オーストラリアは今では私にとってかけがいのない国であり、近いうちに返ることができたらなと思っております。その為にも、まずは秋田大学での残された時間を精一杯有意義に過ごしたいです。



(↑クリスマスของブリスベン)

(ゴールドコーストで行われた
カラーラン→)

